

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

## こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



芳賀町民祭出店 (けやき作業所)

バザー、コーヒー、すいとんなど、出店しました！  
協力してくださった方、地域のみなさん、ありがとうございました。

特集

だれもが幸せを求め  
スタートラインに立てるために  
— 第二八次国会請願署名・募金運動はじまる —

No.284



### ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

# だれもが幸せを求め スタートラインに立てるために

## —第二八次国会請願署名・募金運動はじまる—

おれたちは役にたたない  
というんだらう

きょうされんの署名運動がはじ  
まります。こぶしの歴史と同じく  
らいの年月を重ねています。全国  
の作業所・施設がきょうされんに  
結集しているのはこの署名運動を  
するためと言っても過言ではあり  
ません。あらためてその意味を考  
えました。

先日、ある政党の議員さんたち  
と話す機会がありました。代表者  
の議員さんが言われたことは「三  
位一体の改革が強力に実行されてい  
る。財政課から補助金の一〇パーセ  
ント削減が上位下達で予算編成が  
求められている。こうした時代に  
は真に必要な事業を実施し、効果  
的でない事業は継続が困難」(筆者

の感じたところで文章化しました)  
という説明でした。来年度の予算  
要望を聴く懇談会の冒頭にこうし  
た挨拶があったので参加した福祉  
関係団体の代表の方たちは困って  
しまったと思います。

わたしは心の中で怒りを沈めな  
がら、一人三分という制限の中で、  
要望項目の説明をせず話してしま  
いました。「私は障害者福祉に関わっ  
て三〇年になる。一九七五年は確  
か福祉元年が叫ばれ、施設整備一  
〇カ年計画が出され、障害者福祉も  
いよいよ未来が見えてきたと思っ  
た。ところが、次の年は日本列島改  
造論の最中にトイレットペーパー買  
占などの世相に反映したようにイ

ンフレ不況で、次の年に早くも福  
祉見直しが言われてきた。この三  
〇年はこうしたことの繰り返しで、  
理念だけは立派になったが本質的  
に三〇年間、障害者の暮らしはな  
んら変わっていないと思っている。  
今の障害者福祉の社会資源は砂漠  
にジョウロで水をまくようなもの  
で、支援費制度が始まり、ニーズ  
が出てきたと思ったとたん財政破  
綻。全国六千箇所の無認可作業所  
のたった百万円弱の補助金も削ろ  
うとする。効果的でない補助金事  
業というが、障害者にとっては効  
果的とか言う以前の状況が続いて  
いる」

こんな話がある夜、直井けやき作  
業所自治会長と一杯やりながら話  
しました。「どうして障害者への予算  
って出してもらえないのかな」と聞  
くと、「おれたちに金を使っても勿  
体ない、役にたたないと思ってるんじ  
やないの」と、ドキッとするような  
ことを言いました。核心に迫る言葉  
というのは、触れて欲しくないとい  
う気持ちがあるからでしょうか。彼  
らの生活の支援に責任を持つ側の一人  
として複雑な思いで聞きました。  
彼らの願いは埋もれた形やゆがん  
だ形であらわれるため見えにくく、

① 特集

それ故底深い矛盾(あまり使いたくない言葉ですが差別という言葉がびつたりです)に根ざしているのではないかと思えます。

最低賃金など労働法からの排除。親と一生同居という生活。膨大な在宅者(通勤、通学、通院・入院、家事・家業で家にいる以外の人)。養護学校卒業の進路はまったく闇の向こうです。基本的に署名運動が始まった時代と比べ、こうした実態がどの程度改善したでしょうか。私たちにはそうした実感を全く感じられないのです。

第二八次国会請願署名  
募金運動のねらい

今回の署名で要望するのは三点です。

- ① 利用する施設や作業所でサービ  
スが〇円から五千万円という格  
差を改善すること。
- ② 働く場や住むところがそもそも  
見つかからない。特に障害の重い  
人の通うところは皆無で、早急  
な整備が必要です。
- ③ 誰もが生まれ育った地域で暮ら  
せるように支援体制を作って欲  
しい。特に、自立できる収入を

確保して欲しい。  
というものです。

三つの願いは、だれもが幸せを求め  
るスタートラインに立てるための  
条件です。障害のある人々にとって  
は社会的に必要な最低のハンディを  
認めてもらうということです。今、  
障害者はそのスタートラインに立つ  
ことから排除(憲法二五条の幸福権  
追求の権利の侵害)されています。

また、障害のある人々の自立を支  
える職員にとっては、働き甲斐を求  
める運動です。そのためにも多くの  
地域住民に知らせ、働きかけること  
が大切です。地域の人々にとっては  
自分たちの目の前の不幸をなくし、  
本当の自由な自立した共生の地域社  
会をつくる運動ともいえます。

今年、来年の栃木県で開催され  
る全国大会の資金活動としても募金  
を重視して取り組みます。まず、仲  
間やメンバーから障害ある人のおか  
れている状況を学び、運動の意義を  
確認し、自分たちの目標をつくり、  
達成の具体的な計画を話し合っ  
て、実践に移りましょう。来年四月三〇  
日が最終集約日です。がんばりま  
しょう。



# こぶし作業所ニュース

## こぶし作業所チャリティーバザー

去る10月10日(日)に二荒山神社境内で恒例の「第27回こぶし作業所チャリティーバザー」が開催されました。当日は台風の心配もありましたが、お蔭様をもちまして下記の成果を上げることが出来ました。今回のバザーでは300余の個人・団体・企業の皆様より温かいご理解とご協力を得ることが出来ました。誠にありがとうございました。

**総売上 728,942円 必要経費 110,365円 差引純利益 618,577円**

この収益は、こぶし作業所の運営充実のため、有効に使用させていただきます。  
大変失礼ではございますが、この場をおかりしまして、改めて御礼とさせていただきます。  
今後とも、ご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

第27回チャリティーバザー実行委員会  
実行委員長 藤田 勝春

こぶし作業所後援会  
会長 谷 博之

こぶし作業所  
所長 田澤 幸子

## 実習生がやってきた

この秋、益子養護学校、富屋養護学校そして宇大付属養護学校から1名ずつ、計3名の実習生がやってきました。

実習は学校とは異なった場所・日課などの環境に慣れることが一番のねらいです。いつも一緒にいる先生やお友達がいなくて過ごすということは、大変なことだと思います。

3名とも初めは緊張している様子でしたが、実習が進むうちにどんどん慣れて、作業にも積極的に取り組んでいました。また、利用者の方とも仲良くなれ、家で「こぶし作業所、楽しいよ」と話してくれた生徒さんもいたようです。

利用者の方たちの中には、作業を教えてあげたり、一緒に休憩時間を過ごしてくれる方もいました。頼もしい先輩たちです。

今のこぶし作業所では主な作業は下請け作業に頼っているところがあり、魅力的な作業も少ないのが心配ですが、また一緒に働いていけたらいいなあと思います。

## 新しい仲間が増えました！！

11月1日より、こぶし作業所に新しい仲間が増えました。宇都宮市内から通う菊地隆之さんです。入所して間もないのですが、すぐに仲間と打ち解け楽しそうに作業に取り組んでいます。なんと菊地さんは11月4日～5日にあった親睦旅行にも参加しました。とってもしっかり者の菊地さんは、下請け班に入って仕事をがんばっています。菊地さんとみんなで協力して、今よりもっともっと楽しい作業所にしていきましょう。



## けやき作業所

### 芳賀町障害者福祉計画策定委員会発足

―多くのごぶしの会関係者が参加―

去る八月一日、芳賀町役場会議室において第一回芳賀町障害者福祉計画策定委員会が開催されました。委員は一名で、障害者福祉に関わる人たちで構成しています。その中にはけやき作業所保護者二名、けやき作業所等後援会役員が三名、後援会員一名、県東ライフサポートセンター施設長、けやき作業所所長と、なんと八名ごぶしの会関係者が構成されているのです。作業部会では、けやき作業所や第2けやき作業所の利用者や支援員の参加もしています。次号は会合の様子を報告したいと思います。楽しみにしてください。



### 営業・販売班の紹介

今年度より、営業・販売班がスタートいたしました。現在、10人のなかまが活動しております。地域の企業を中心に、パン・弁当の良さをPRしております。今後とも、活動を続け、より美味しいパン・弁当をたくさんの方々にお届けしたいと思います。



### 保護者懇談会

10月12日(火)に第2けやき作業所にて保護者懇談会が開催されました。高橋所長より、障害者の方々をめぐる情勢が説明され、その後、今後の保護者会のあり方、けやき作業所の今後について話されました。昼食はけやき作業所のニコニコ弁当をとり、和やかな雰囲気での総会となりました。



### ↓ふれあい運動会

10月23日(土)に芳賀町農業者トレーニングセンターにて社会福祉協議会主催で行われました。お世話になりました。



### 今月のホリデー

### ↑トランポリン

10月30日(土)に栃木県体育館にてトランポリンの体験が行われました。トランポリン協会の役員の方が指導してくださいました。ありがとうございました。

県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

朝夕の寒さに秋の深さを感じる季節になりましたね。ほっとCHAから眺める景色も赤や黄色の木々が見られるようになってきました。今年の紅葉はいかがですか？  
ゆっくりと過ぎ行く秋を満喫したいですね！

## いい汗かけましたか？

一〇月一六日ほっとCHAでは午前中今年度二回目のソフトバレーボールを楽しみました。疲れたメンバーさんと思いつきり体を動かしたいメンバーさんが交互に参加できる人数が集まりました。回転レシーブを披露してくれたOさん、いつも大活躍のSさん、年齢も二〇代から六〇代までと幅広く、にぎやかに楽しめるのがほっとCHAのいいところなのかしら…♪と感じているスタッフです。

午後からは疲れた体を癒しながら「バイレーツ・オブ・カリビアン」のビデオ鑑賞をしました。なかなか面白かったよ！との感想もありました。

その他の方の感想をご紹介します。

## メンバーさんの声

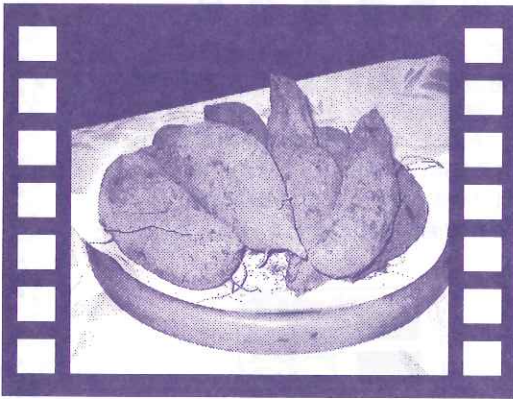
- ・ソフトバレー、失敗しても笑いが絶えなくて楽しかったです。バイレーツ・オブ・カリビアン、思ったよりも面白くて笑っちゃうところもあって良かったです。
- ・久々にソフトバレーに出たので体がきつかったです。また運動をする場を増やして欲しい。(運動不足、体重増加、コレステロール高いので)
- ・バレーボールをやって体が重いです。

## 大収穫！お味はいかが？

ほっとCHAと第2けやき作業所合同の家族会として、地域に暮らす精神障害をお持ちのご家族が集まって毎月座談会を中心に活動しています。「今年度は楽しいことをやろう！」との意見が集まり、畑をお借りして「サツマイモ紫芋・紅栗」を作ってみました。苗植え、草取り(夏の一番大変な時に草取りをして頂いたIさん、他の方からも感謝の気持ちで一杯です)。…。試行錯誤の末、一〇月になんとか収穫の時期を迎えることができ、その場で芋煮会も実施！大きいもの、小さいもの、もぐら？にかじられたのなどたくさん収穫することができました。お味は「もう少し甘いといいねえ…」とのこと。素人が作るサツマイモですから…。芋作りを通してご家族の方の息抜きになっければ言うことなし！でしょう。

サツマイモを買っていただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

## 写真コーナー



## ヒーフル

真岡市は芳賀郡で一番大きく、行政機関が集まる街です。そのステキな街で相談や訪問等、活動されている保健師さんをご紹介します。

真岡市福祉課は、生活保護に関する保護係・高齢者の生きがいづくり等の高齢者福祉係として障がい者の手帳申請・交付や福祉サービス提供などに関する障害者福祉係の三つの係があります。

平成一四年から精神保健福祉事業の一部が市町村へ移り、平成一五年から障がい者の支援費制度がスタートしました。

真岡市では、精神障がい者の方には精神福祉手当の給付や手帳一・二級の方にタクシー券と井頭温泉券を配布しています。また、今年の一〇月からは、心のバリアフリーを目的に「障害」を「障がい」としてまずは、通知文やパンフレットなどから使用していくことになりました。

これからも、住みやすい町づくりをめざして職員一同努力していきたいと思えます。

真岡市保健福祉部福祉課障害者福祉係

高橋 信子さん



# みらいニュース



## 楽しかった家族旅行

セルプ・みらいでは利用者・保護者・職員の交流を深めるために、今年も家族旅行を行いました。今年のプランは①日本のみかん栽培の北限である烏山国見のみかん狩り②なががわ水遊園 ③SL列車体験というメニューに決まりました。旅行当日は、最近の台風に悩まされることなく今秋1番ともいえる快晴の中行われました。

みかん園では、30分程度という時間の中で、あわただしくみかん狩りが始まりました。それぞれに赤いネットをもち、色が黄色くなってきたみかんを枝からもぎ取り、また試食しながら楽しむことができました。中には色が青くすっぱそうなものばかりを集める人もいましたが、それはそれで楽しめたようです。お土産付きで待っていてくれた道の上みかん園さん、どうもありがとうございました。すばらしい景色の中でのみかん狩りは、参加した皆の中にも良い思い出になったと思います。

次になががわ水遊園へ行き、水中トンネルをくぐったり、カニやザリガニに直接触れたりしました。「水の中を歩いていたようで感動しました」という感嘆の声も聞かれました。そして昼食。広場でSL弁当なるものをいただきました。

どのあたりが「SL」弁当なのかはいまだに不明ですが(笑)。

最後に茂木駅～真岡駅の区間をSL列車を利用し、今年の旅行は終盤へ。車内では記念撮影用の車掌帽が借りられ、車内での楽しい話題作りになりました。後で写真を現像するのが楽しみです。また汽笛をあげるSL列車の見物客の「バイバイ」に、車内からも手を振って応えるなど旅行ならではの楽しみ方もできました。

そして、無事旅行を終了。参加した利用者からは「バスの中のカラオケはとっても楽しめました」「みんなと一緒に見てまわった水族館がよかったです」などのような感想をいただきました。皆の笑顔に、来年もまた楽しい家族旅行を計画したいと思います。



真岡信用組合から頂いた「芋掘り券」での芋掘り！大収穫でした！ありがとうございました！



真岡西中の文化祭(西輝が丘祭)に出店しました！うどん・そば、大好評！

## ホームヘルパー3級講習会に参加して

弁当班に所属している渡辺重晴さんがホームヘルパー3級の講習会に参加しています。これは県立高等産業技術学校から壬生のせせらぎ学園に委託され、障害者向け職業訓練として実施されているものです。講習期間は2ヶ月。渡辺さんは毎日、バス・電車を使って壬生まで通い、資格をとるために只今奮闘中です。そんな渡辺さんから感想をいただきました。



10月12日(火)から僕は壬生町にある、せせらぎ学園に行き講習会に参加しています。今までの半行が終わりました。初めはわからないことはがいり失敗が多く、いろいろ教わりながら今まで失敗したところを成功させられるように頑張りました。最初はドキドキの連続でした。今は友達がいっはいできました。仲良く、楽しく、学びあうことも心がけ、自分が今まで覚えたことを前面に出し、頑張っています。もうすぐ実習が始まります。ヘルパーとして一人の社会人として多くのマナーを守り、高齢者や障害者や困っている人々たちを手助けして、より多くの人たちと接し、より多くの人を助けて障害があるなしに関わらず、みな平等に暮らせる町をつくりあげて一人の人としてキレイな心を持ち、ヘルパーとして一人の人として、恥をかかない行動をしていきたいです。

これから実習がはじまる渡辺さん。12月7日(火)まで頑張っ、ひとまわり大きくなって帰ってきてくれることでしょう。

僕たちのこと  
もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
028-687-1040






**こぶし作業所・後援会**  
**ボランティア大募集!**

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルプ  
(軽食喫茶店)の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所  
☎028 (662) 1911

**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとってよいところですよ!

☆第2けやき作業所  
☆県東ライフサポートセンター



**セルプ・みらい**  
**ボランティアさん募集!!**

- ・箱折り
- ・プールの手すり糸目み

(※1・3火曜日AM中)

※詳しくは、セルプ・みらいまで...  
☎0285-81-1155



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
TEL 028 (613) 5703  
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルプ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7  
TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所 デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- すずらの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4  
TEL 028 (677) 0776
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県真岡市亀山1043-23  
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- セルプ・みらい ☎321-4363

発行所 郵便番号 350-0073

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円